

## 令和8年度 授業計画書（シラバス）

分野	専門分野		開講時期	2年後期	
授業科目名	地域・在宅看護論		単位数	1単位	
	在宅療養を支える技術Ⅱ		時間数	15時間	
講師名	菅原 みち子	所属	訪問看護 ステーションさくら	資格・免許	看護師免許
		職名	看護師		
講師名	菊地 直人	所属	一関中央クリニック	資格・免許	理学療法士免許
		職名	理学療法士		
事前学習内容					
テキストの授業内容に関連する部分を学習しておく					
科目全体のねらい					
暮らしの場で行われる治療と看護を理解する					
教育目標との関連					
(1) 命の尊さや思いやりを基調に、人々と協和し、良い人間関係を築くことができる。					
(3) 人間を、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解することができる。					
(4) 対象を、どのような健康状態であっても、社会で生活している人と捉えることができる。					
(5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。					
(7) 社会の特性を理解し、保健・医療・福祉チームの中で、多職種と連携・協働し、対象が希望する地域で、より良く生きることを支援できる。					
科目目標					
暮らしの場で行われる治療と看護を理解する					
医療依存度の高い療養者の看護を理解する					
回	授業内容			講師	方法
1	生活を支える技術と医療ケア（呼吸管理:在宅酸素、人工呼吸器）			菅原	講義・演習
2	生活を支える技術と医療ケア（褥瘡管理：予防、処置）			菅原	講義・演習
3	生活を支える技術と医療ケア（服薬管理、輸液、中心静脈栄養）			菅原	講義・演習
4	生活を支える技術と医療ケア（日常生活の事故防止・予防）			菅原	講義・演習
5	地域・在宅看護と健康障害（地域・在宅看護と生活不活発病予防）			菊地	講義・演習
6	地域・在宅看護と健康障害（地域・在宅看護と生活不活発病予防）			菊地	講義・演習
7	地域・在宅看護と健康障害（地域・在宅看護と介護予防）			菊地	講義・演習
8(45分)	地域・在宅看護と健康障害（地域・在宅看護と介護予防）			菊地	講義・演習
受講上の注意				評価方法 筆記試験 100点	
使用するテキスト					
訪問リハビリテーション実践テキスト新版（青梅社）					
地域・在宅看護の基盤、地域在宅看護の実践（医学書院）					
参考文献					

\* 病院や地域医療での実務経験を有する教員が、その経験を活かして講義する